



## 交付運用報告書

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、『スパークス・新・国際優良アジア株ファンド／アジア厳選投資』は、このたび、第1期の決算を行いました。

当ファンドは、主としてスパークス・アジア厳選投資マザーファンドを通じて、アジア（除く日本）の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

### < お問い合わせ先 >

スパークス・アセット・マネジメント株式会社  
東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス  
リテールBDマーケティング部  
電話：03-6711-9200(代表)  
受付時間：営業日の9時～17時  
ホームページアドレス：<http://www.sparx.co.jp/>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

### < 閲覧方法 >

上記URLにアクセス⇒「スパークスの投資信託」より「投資信託一覧」の当ファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

## スパークス・新・国際優良 アジア株ファンド

愛称 **アジア厳選投資** 特化型

追加型投信／海外／株式

第1期(決算日 2018年5月25日)  
作成対象期間(2017年5月26日～2018年5月25日)

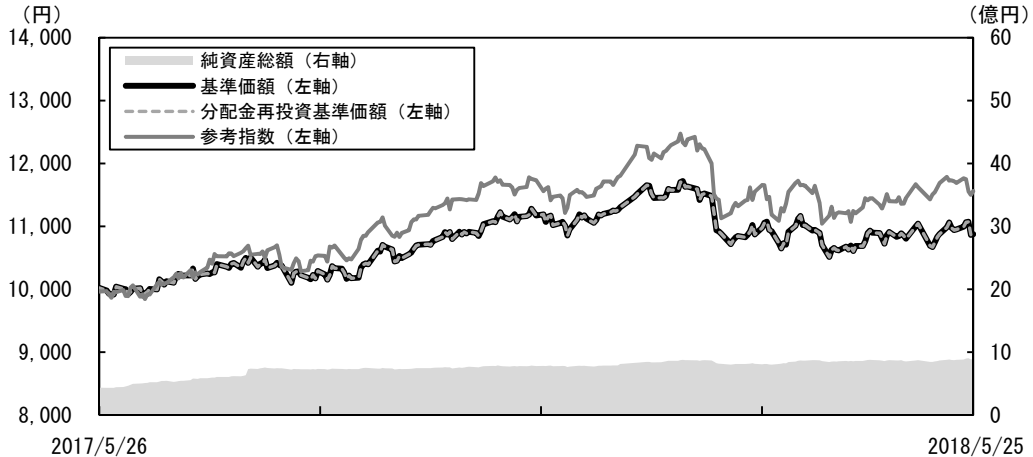
第1期末 (2018年5月25日)	
基準価額	10,875円
純資産総額	887百万円
第1期 (2017年5月26日～2018年5月25日)	
騰落率	8.8%
分配金合計	0円

(注) 騰落率は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

## 運用経過

### ■ 基準価額等の推移 (2017年5月26日～2018年5月25日)

基準価額は設定時に比べ8.8%(分配金再投資ベース)の上昇となりました。



設定日 : 10,000円

第1期末 : 10,875円(既払分配金0円)

騰落率 : 8.8%(分配金再投資ベース)

- ※ 設定日の基準価額は設定当初の投資元本です。
- ※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

※ 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia ex Japan Index(円ベース)」です。

※ 参考指数は当ファンドの設定時の基準価額に合わせて指数化しております。

### ■ 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、スパークス・アジア厳選投資マザーファンド(以下、「マザーファンド」)を通じて、アジア(除く日本)の株式に投資をしております。

当期中、国別では中国、香港、タイがプラスに貢献し、インドネシア、フィリピンがマイナスに影

響しました。パフォーマンスを牽引したのはテクノロジー銘柄で、Tencent（中国/ソフトウェア・サービス）、Taiwan Semiconductor Manufacturing Company（台湾/半導体・半導体製造装置）などがプラスに貢献しました。銀行や保険といった金融銘柄もプラスに貢献し、一般消費財セクターと通信セクターはマイナスに影響しました。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項目	第1期 2017年5月26日～2018年5月25日		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 ( 投 信 会 社 )  ( 販 売 会 社 )  ( 受 託 会 社 )	203円 ( 104 ) ( 93 ) ( 6 )	1.895% ( 0.971 ) ( 0.868 ) ( 0.056 )	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・ファンドの運用、開示書類等の作成、基準価額の算出等の対価 ・購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ・ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 ( 株 式 )	22 ( 22 )	0.205 ( 0.205 )	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ・有価証券等を売買する際に発生する費用
(c) 有価証券取引税 ( 株 式 )	6 ( 6 )	0.056 ( 0.056 )	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ・有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( 印 刷 費 用 ) ( そ の 他 )	29 ( 17 ) ( 1 ) ( 11 ) ( 0 )	0.271 ( 0.159 ) ( 0.009 ) ( 0.103 ) ( 0.000 )	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・ファンドの監査人等に対する報酬および費用 ・法定書類等の作成、印刷費用 ・信託事務の処理等に関するその他の諸費用
合 計	260	2.427	

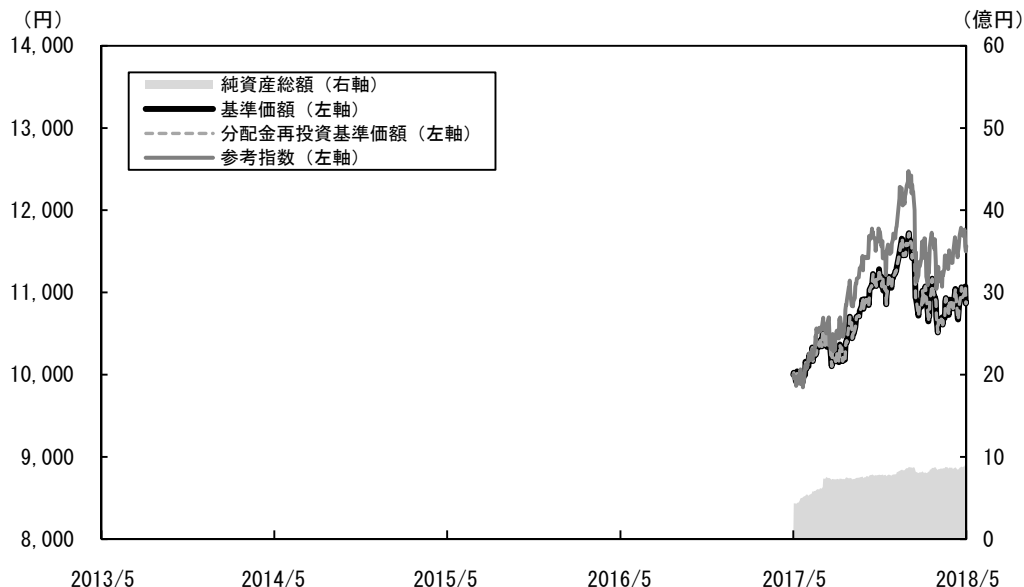
期中の平均基準価額は10,716円です。

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■ 最近5年間の基準価額等の推移 (2013年5月25日～2018年5月25日)



- ※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- ※ 参考指数は当ファンドの設定時の基準価額に合わせて指数化しております。

		2017年5月26日 設定日	2018年5月25日 決算日
基準価額	(円)	10,000	10,875
期間分配金合計(税込み)	(円)	-	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	-	8.8
参考指数騰落率	(%)	-	15.6
純資産総額	(百万円)	434	887

- ※ 設定日の基準価額は設定当初の投資元本です。
- ※ 参考指数は「MSCI AC Asia ex Japan Index(円ベース)」です。  
参考指数の詳細は、最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

## ■ 投資環境

当期のアジア株式市場は変動がありながらも上昇し、当ファンドの参考指数であるMSCI AC Asia ex Japan Index（円ベース）は当ファンドの設定時と比較して15.6%上昇しました。

アジア株式市場は2017年後半にかけて、世界経済の同時拡大を背景に、堅調に推移しました。投資家がベータ値の高い銘柄に目を向けたため、テクノロジー、金融、コモディティなどのセクターが好調に推移しました。

しかし、2018年前半は市場のボラティリティが急激に上昇しました。利上げのペースや米中間の貿易摩擦の行方が見通せないことから、市場は2月から下落に転じました。原油価格の上昇と通貨安によって景気の腰の強さに対する懸念が高まり、ASEAN諸国から資金が流出しました。AppleのiPhoneの売上予想が引き下げられたことも、同社のサプライチェーン上に位置する企業にとって株価のマイナス材料となりました。

中韓関係は当期中に大幅に改善しました。朝鮮半島の地政学的緊張がいくぶん和らいだことで、観光や免税品を手がける韓国企業に対する投資家心理が改善しました。

銀行は、金利上昇で利益率が改善するという期待感の恩恵を受けました。さらに、一部の銀行では過去数年間のデジタル化の取り組みの成果が営業収支比率の改善という形で現れました。

## ■ ポートフォリオ

### <スパークス・新・国際優良アジア株ファンド>

当ファンドは、主としてスパークス・アジア厳選投資マザーファンドを通じて、アジア（除く日本）の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行うことを基本とします。

マザーファンドの組入比率は高水準を維持しました。このため基準価額は、マザーファンドに組み入れられた資産の変動の影響を大きく受けました。

### <スパークス・アジア厳選投資マザーファンド>

当ファンドではボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別して投資を行います。

当ファンドはポートフォリオの既存ポジションの見直しと評価を定期的に行っています。新情報の入手によって投資開始時点の想定が崩れた場合、持ち分を売却し、他分野のより有望な銘柄に組み替えます。

当期中に買い増した銘柄には、Samsung Electronics（韓国/テクノロジー・ハードウェアおよび機器）、JD.com（中国/小売）、ITC（インド/食品・飲料・タバコ）などがあります。

当期中に全株式を売却した銘柄には、Power Assets（香港/公益事業）、Singapore Telecommunications（シンガポール/電気通信サービス）、Global Logistics Properties（シンガポール/不動産）などがあります。

当ファンドは個別銘柄を選別して積み上げる形で構成されていることから、主なプラス要因、マイナス要因の説明として、ファンドのパフォーマンスに影響した個別銘柄の株価変動要因について記載します。

## （主なプラス要因）

当期のパフォーマンスに対してプラスに貢献した主な銘柄は、Tencent、AIA、Airport of Thailandなどです。

### Tencent（中国/ソフトウェア・サービス）

ゲーム、広告部門の収益が順調に増加。Wechat（微信）や他のスタートアップ企業への投資の寄与により、今後も堅調に伸びる見込み。

### AIA（香港/保険）

中国市場を中心に保険料収入の伸びが加速。利益率が改善。

### Airport of Thailand（タイ/運輸）

中国を中心に外国人観光客が堅調に増加。空港使用料の高い国際線旅客比率の上昇で収益性が改善。

## （主なマイナス要因）

当期のパフォーマンスに対してマイナスに影響した主な銘柄は、China State Construction International、Kangwon Land、Universal Robina Corpなどです。

### China State Construction International（香港/資本財）

契約獲得件数は増加も、投資家は官民連携（PPP）プロジェクトに関連したキャッシュフローの軟化を懸念。同社は当期中に増資を行い、自己資本負債比率を抑制。

### Kangwon Land（韓国/消費者サービス）

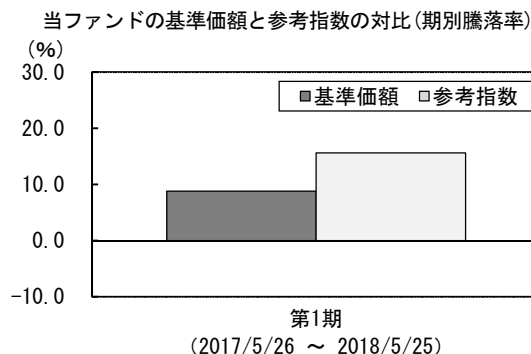
規制リスクの拡大とゲームテーブルの稼働率低迷により、売上と利益がともに予想を下回る。

### Universal Robina Corp（フィリピン/食品・飲料・タバコ）

インスタントコーヒー・セグメントの競争は依然として熾烈。コストが増加しても販売価格にはあまり転嫁できないため、利益率が低下。海外事業は引き続き低迷。

## ■ ベンチマークとの差異

- ※ 当ファンドはベンチマークを設けておりません。  
右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ※ 参考指数は、「MSCI AC Asia ex Japan Index (円ベース)」です。



(注) 基準価額の騰落率は、分配金込みです。

## ■ 分配金

当期の収益分配につきましては、期中の基準価額水準および市況動向等を勘案して見送らせていただきました。なお、留保益につきましては、信託財産中に留保し、当ファンドの基本方針及び今後の運用方針に基づき運用させていただきます。

## 〔 分配原資の内訳 〕

(単位：円 1万口当たり・税込み)

項目	第1期 (2017年5月26日～ 2018年5月25日)
当期分配金 (対基準価額比率)	— ( —%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	875

- (注1) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。
- (注2) 該当欄に数値がない場合は「—」、小数点以下のみの数値の場合は「0」にて表示します。
- (注3) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針

### <スパークス・新・国際優良アジア株ファンド>

スパークス・アジア厳選投資マザーファンド受益証券の組入比率は、引き続き高水準を維持し、信託財産の中長期的な成長を目標に、積極的な運用を行います。

### <スパークス・アジア厳選投資マザーファンド>

当ファンドは、アジア経済の成長から恩恵を受けるアジアの優良企業に重点的に投資し、インフラ、消費者、革新的テクノロジーといった長期的テーマを注視しています。

各国の政策や改革プログラムが功を奏し、アジア各国の生産性と競争力は改善を続けています。当ファンドが材料視しているのは、中国の国有企業改革、フィリピンの税制改革、インドネシアとタイのインフラ支出といった取り組みです。インドでは、デジタルインフラの構築によって社会的共生（住宅、教育、医療）と金融的共生（銀行、補助金、ローンへのアクセス）の実現を目指そうとする政府の取り組みに注目しています。インフラ・プロジェクトには多額の資金を長期にわたって投下する必要があることから、当ファンドは財務体質が健全で実績の豊富な企業を選定し、リスクを抑えて安全に投資することを心がけています。

アジアにおけるサービスの需要は、所得の増加にしたがって拡大していくという当ファンドの予想に変化はありません。保険会社のAIA、観光業に関連するAirport of ThailandやSamsonite、ゲーム事業を営むTencent、カジノ運営のSands China、といったアジア各国の消費力拡大の恩恵を受けやすい銘柄は今後も主要な投資対象となるでしょう。

テクノロジーセクターは今後も有望な投資先となる見込みです。スマートフォンの普及、Eコマースの人気上昇、モノのインターネット（IoT）、ネットに接続した機器類の登場、ファクトリーオートメーション（FA）に対する需要、人工知能（AI）、自動運転技術、フィンテックといった心躍る技術革新によって、消費者と生産者の行動には変化が表れるでしょう。当ファンドは引き続きこうした分野をリードする企業を発掘し、長期的な成長を取り込んでいく意向です。

当ファンドは引き続き企業のファンダメンタルズを見極め、次なる投資機会を積極的に掘り起こして、投資家の皆様に還元してまいります。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



## 当ファンドの概要

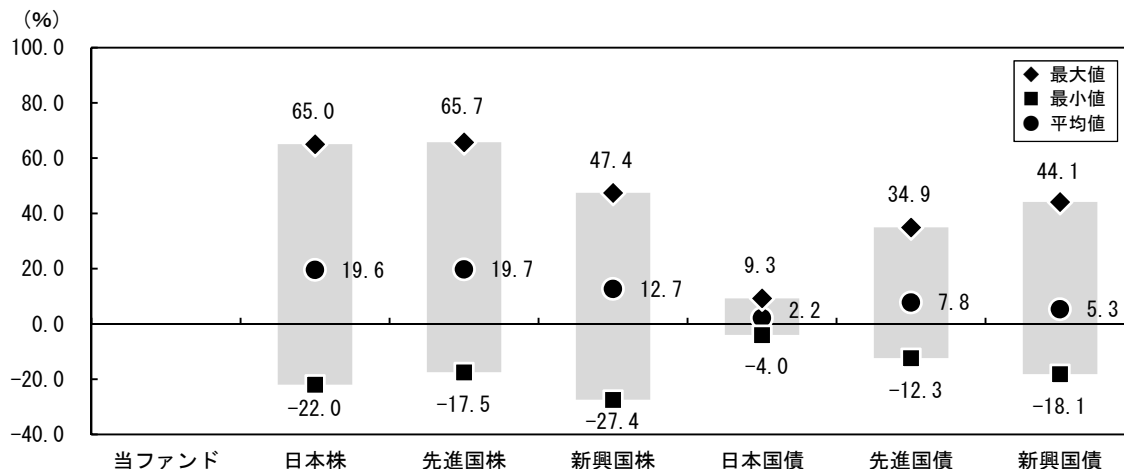
商 品 分 類	追加型投信／海外／株式	
信 託 期 間	無期限（2017年5月26日設定）	
運 用 方 針	当ファンドは、主としてスパークス・アジア厳選投資マザーファンドを通じて、アジア（除く日本）の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。	
主 要 投 資 対 象	当ファンド	スパークス・アジア厳選投資マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	スパークス・アジア厳選投資マザーファンド	アジア企業（除く日本）の株式またはアジア地域（除く日本）の金融商品取引所に上場している株式（これに準ずるものを含みます。）を主要投資対象とします。
当 法 ン ド の 運 用 方 法	<p>① 主として、スパークス・アジア厳選投資マザーファンド受益証券（以下「マザーファンド」といいます。）を通じて、アジア企業（除く日本）の株式またはアジア地域（除く日本）の金融商品取引所に上場している株式（これに準ずるものを含みます。）に投資を行います。</p> <p>② マザーファンドにおいては、ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別して投資を行います。</p> <p>③ 信託財産の運用成果の評価に際して、参考指数はMSCI AC Asia ex Japan Index（円ベース）とします。ただし、参考指数への追従を意図した運用は行いません。</p> <p>④ マザーファンドにおいては、株式等への投資に当たっては、原則として参考指数、国、業種にとらわれず、魅力的と判断した銘柄に絞り込んで選別して投資を行います。</p> <p>⑤ マザーファンドにおける株式等の銘柄選択にあたっては、香港に拠点を置くスパークス・アジア・インベストメント・アドバイザーズ・リミテッドの投資助言を受けます。</p>	
分 配 方 針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収入および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</li> <li>・ 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等は、収益分配を行わないこともあります。</li> <li>・ 留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</li> </ul>	

※ 当ファンドは、一般社団法人投資信託協会「投資信託等の運用に関する規則 信用リスク集中回避のための投資制限の例外」を適用して特化型運用を行います。そのため、一般のファンドにおいては、一の者に係るエクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率として10%を上限として運用を行うところを、当ファンドにおいては35%を上限として運用を行います。

※ 当ファンドは、ベンチマーク等を意識せず、弊社独自の調査活動を通じて厳選した少数の投資銘柄群に絞り込んで集中投資することとしているため、個別銘柄への投資において、当ファンドの純資産総額に対して実質的に10%を超えて集中投資することが想定されています。そのため、集中投資を行った投資銘柄において経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

(参考情報)

■ ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較 (2013年5月末～2018年4月末)



(注1) 2013年5月～2018年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2017年5月26日から運用を開始し、2018年4月末現在で設定後1年を経過していないため、該当事項はありません。

(注2) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注3) 当ファンドは税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注4) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※ 各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債・・・FTSE新興国市場国債インデックス(円ベース)

\* 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、指数提供元にて円換算しています。

\* 詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

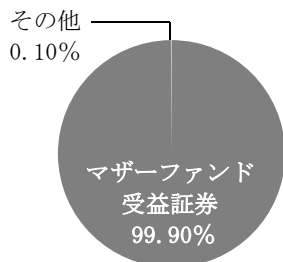
## 当ファンドのデータ

### ■ 組入資産の内容 (2018年5月25日現在)

#### < 組入ファンド >

ファンド名	第1期末
スパークス・アジア厳選投資マザーファンド	99.90%
組入銘柄数	1ファンド

#### < 資産別配分 >



#### < 国別配分 >



#### < 通貨別配分 >



※ 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

※ 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

### ■ 純資産等

項 目	第1期末 2018年5月25日
純資産総額	887,744,860円
受益権総口数	816,287,449口
1万口当たり基準価額	10,875円

(注) 当期中における追加設定元本額は1,078,270,268円、同解約元本額は261,982,819円です。

■ 組入上位ファンド(銘柄)の内容

【スパークス・アジア厳選投資マザーファンド】 (2018年1月26日現在)

< 基準価額の推移 >

(2017年2月3日～2018年1月26日)



< 1万口当たりの費用明細 >

項目	第1期 2017年2月3日～ 2018年1月26日	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	43円 ( 43)	0.383% (0.383)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	9 ( 9)	0.080 (0.080)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	17 ( 17) ( 0)	0.151 (0.151) (0.000)
合 計	69	0.614

期中の平均基準価額は11,229円です。

< 組入上位10銘柄 >

	銘柄名	通貨	比率(%)
1	Tencent Holdings Ltd.	香港ドル	7.68
2	AIA Group Limited	香港ドル	7.64
3	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co., Ltd.	新台湾ドル	5.37
4	Hong Kong Exchanges & Clearing Ltd.	香港ドル	3.91
5	Kangwon Land, Inc.	韓国ウォン	3.54
6	Airports of Thailand Public Co. Ltd. NVDR	タイバーツ	3.45
7	Samsung Electronics Co., Ltd.	韓国ウォン	3.15
8	Guangdong Investment Limited	香港ドル	3.09
9	DBS Group Holdings Ltd	シンガポールドル	3.01
10	China State Construction International Holdings Limited	香港ドル	3.01
組入銘柄数		33銘柄	

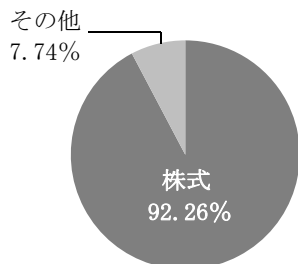
※ 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

(注1) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので、2ページ(1万口当たりの費用明細)の項目の概要および注記をご参照ください。

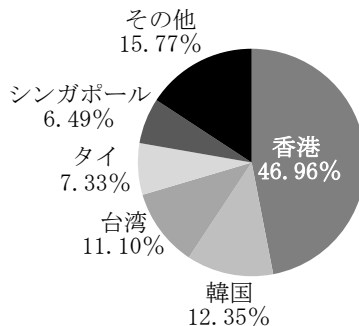
(注2) 基準価額の推移、組入上位銘柄のデータは2018年1月26日現在のものです。

(注3) 各々の表にある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

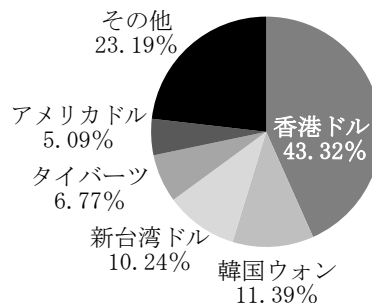
< 資産別配分 >



< 国別配分 >



< 通貨別配分 >



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2018年1月26日現在のものです。国別配分は、発行国または投資国を表示しています。  
 (注2) 資産別・通貨別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、国別配分比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

## 指数に関して

### < 当ファンドの参考指数について >

当ファンドの参考指数であるMSCI AC Asia ex Japan Indexは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除くアジア地域の先進国と新興国の大型・中型株で構成されています。また、MSCI AC Asia ex Japan Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

### < 代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数 >

#### 日本株：東証株価指数(TOPIX) (配当込み)

東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時(1968年1月4日終値)の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。TOPIXは、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所はTOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

#### 先進国株：MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)

MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### 新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

#### 日本国債：NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債とは、野村證券株式会社が公表している指数で、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社およびその許諾者に帰属します。野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関し、一切責任ありません。

#### 先進国債：FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

#### 新興国債：FTSE新興国市場国債インデックス(円ベース)

FTSE新興国市場国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

※ 上記指数はファクトセットより取得しています。